

# 営農経済部 稲作 特別情報



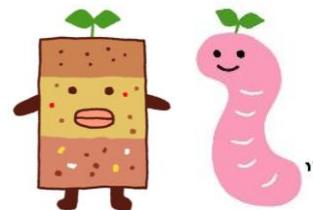
◆ JA広島市管内のトビイロウンカ について  
令和3年度 トビイロウンカの飛来は、未確認で被害無しでした！

水稲の収量・品質向上② ～来年度の稲作に向けて～

## ◆稲刈り後の対策について

収量・品質向上に向けて、稲刈り作業終了後は、速やかに以下の作業を行ってください！

- ✓ 土づくり資材の投入
- ✓ 稲わらの腐熟促進
- ✓ 雑草対策



## <水田難防除雑草>

近年、圃場に多発している“しつこい多年生雑草”のオモダカ、クログワイですが、稲刈り後も生育を続け、本田の地中で来年度の発生源となる塊茎を形成します！

難防除雑草（オモダカ、クログワイ）の塊茎を減らすために  
稲刈り後の雑草対策をすることが重要です！！

## 対策①「稲刈り後の除草剤散布」

稲刈り後、雑草の茎葉から根まで浸透移行し、地下部まで枯らすことのできる

**除草剤(ラウンドアップマックスロード)**

希釈倍率 100～50 倍

(水 10 L に 100～200m l)

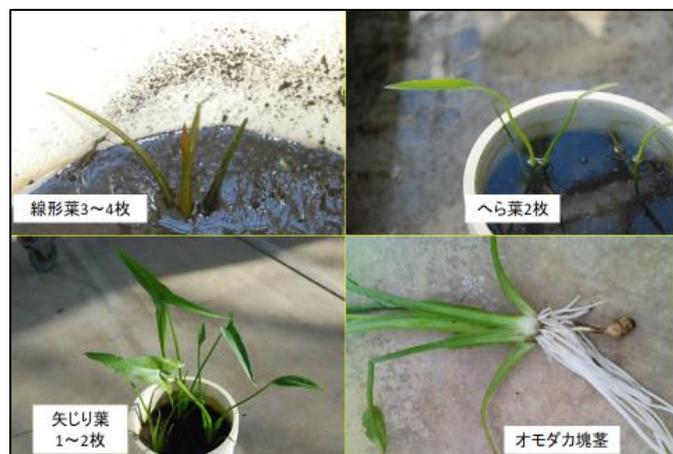
を散布しましょう！

雑草の生えているところだけに  
散布してください！！

## 対策②「秋おこし」

塊茎は、乾燥や寒さに弱いため、**秋おこし**を行ない、地中にある塊茎を地上に出し、枯らします！

完全に無くなるわけではありませんが、来年度の“しつこい多年生雑草”の塊茎の発生量を減らすことができます！！



▲ オモダカ (オモダカ科)



▲ クログワイ (カヤツリグサ科)